

会 議 録

1 会議名

平成 30 年度第 6 回三和区地域協議会

2 報告事項(公開)

(1) 平成 30 年度冬期道路交通確保除雪計画について

3 議題 (公開)

(1) 自主的審議事項について

(2) 三和中学校との意見交換会について

(3) 平成 31 年度地域活動支援事業の採択方針について

(4) その他

4 開催日時

平成 30 年 11 月 29 日 (木) 午後 6 時 30 分から午後 8 時 42 分まで

5 開催場所

三和コミュニティプラザ 2 階 会議室 1

6 傍聴人の数

0 人

7 非公開の理由

—

8 出席した者の氏名

・委員：飯田英利、金井茂康、江口 晃、江口一秋、小林則子、高橋鉄雄、田辺敏行、
星野幸雄、松井隆夫、松井 孝、丸山孝明、宮沢和一、渡邊政則

(14 人中 13 人出席)

・事務局：三和区総合事務所 高橋所長、山岸次長、柳崎市民生活・福祉グループ兼教育・
文化グループ長、池田班長、飯田副主任 (以下、グループ長はG長と表記)

9 発言の内容 (要旨)

【山岸次長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務める。

【松井 孝会長】

— 挨拶 —

・会議録の確認：渡邊政則委員に依頼。

【松井 孝会長】

報告事項に入る。「平成30年度冬期道路交通確保除雪計画について」事務局から説明をお願いします。

【山岸次長】

別冊「平成30年度冬期道路交通確保除雪計画書」により説明

【松井 孝会長】

ただ今、事務局から説明があったが、委員の皆さんから意見、質問があればお願いしたい。

【高橋委員】

町内会長協議会において意見や要望はあったか。

【高橋所長】

野町内会より、町内を2社の事業所で除雪を行っているが作業の出来高が違う。業者にしっかり伝えて指導してほしいという要望があった。

【松井 孝会長】

他に意見、質問があるか。

(なし)

意見、質問がないので、報告事項の「平成30年度冬期道路交通確保除雪計画について」はこれで終了する。

【松井 孝会長】

次に、議題に入る。議題(1)「自主的審議事項について」である。

まず初めに、11月20日に開催した町内会長協議会への説明会について報告する。当日は、協議会としての検討結果及び教育委員会より学校の適正配置について説明があった。

協議会からの説明は、皆さんすでに承知されていると思うので省略する。

教育委員会からの説明では、小・中学校の現状と今後の適正配置の方向性、複式学級がある学校や見込まれる学校へ説明を行う予定であること、再配置に当たっては、新たな校

舎の整備は行わず、現在の校舎の利用を前提とすることなどの説明があった。

意見交換では、統合は仕方がないと思われると理解いただいた。少しでも早く環境の整備や適正配置の規模にしてほしい。教員の配置等は、住民は知らないことが多いため、きちんと情報提供してほしいなどの意見が出された。

地域協議会としても地域説明会を開催するので、町内会長からも参加の呼びかけをお願いした。

報告は以上だが、意見、質問があるか。

(なし)

次に地域説明会の詳細について検討したい。説明は会長が行い、進行は副会長としていがかがが。

(一同賛成)

他に意見、質問が無ければ、議題(1)「自主的審議事項について」はこれで終了する。

【松井 孝会長】

次に、議題(2)「三和中学校との意見交換会について」に入る。

事務局から説明をお願いする。

【池田班長】

※資料No.1により説明

- ・事前学習を12月18日(火)6限に行い、松井会長、金井副会長が出席する。

【松井 孝会長】

グループ分けをしてあるが会長、副会長については、当日の参加者により変更もありえる。割り振りや進行等についてあらかじめ決めておきたいと考える。意見はあるか。

(なし)

では、こちらで進行等を決めさせていただき、後日お知らせする。

他に意見、質問はないか。

【高橋委員】

ある程度テーマを決めて行うのか。

【松井 孝会長】

ある程度テーマを絞って行う。テーマについては、前回の協議会で案を示してあるのでそのままで行いたい。

【山岸次長】

テーマを確認する。大きいテーマは、「笑顔が輝くまち（さんわ）づくり」～三和をどう感じているのか～で、聞きたいこととして、「若者が住みたい、働きたいと思う三和への希望や要望」、「良いところ、少し残念と思うところは」、「自然豊かな三和を生かす方法はなにか」の3点である。

【松井 孝会長】

当日のスケジュールの中にもテーマも標記して作成し、委員も各自で整理して参加し、ワークショップを進めてほしい。

他に意見、質問が無ければ、議題（2）「三和中学校との意見交換会について」はこれで終了する。

【松井 孝会長】

次に、議題（3）「平成31年度地域活動支援事業の採択方針について」に入る。

初めに、11月14日に開催された地域協議会会長会議の報告をする。

※資料No.2の「見直しの必要性」について報告

グループ討議では、活動支援事業の取組、自主的審議事項での市への意見書提出などの方法について討議してきた。事業実施後の次年度以降の確認も必要ではないのかと意見してきたので報告する。

それでは、事務局から考え方の説明をお願いします。

【池田班長】

平成31年度地域活動支援事業の採択方針の検討にあたり、検証・検討等に基づく見直し方法等について説明する。

※資料No.2により、会長会議で行われた内容を説明

今回示された見直し方法等について、今年度の三和区採択方針の項目毎に整理した。平成30年度の方針、今回示された課題解決に向けた考え方の例を参考に、平成31年度の採択方針を検討していただきたい。

今回は、大幅な見直しが必要となる。地域協議会として十分な協議や検討を行っていただきたい。

今後については、まず資料をお持ち帰りいただき、個々に検討していただきたい。その意見を事務局でまとめ、次回の地域協議会で再度検討し、地域協議会として決定していた

だきたいと考える。

【松井 孝会長】

ただ今、事務局から説明があったが、市から提案はあるが最終的には各協議会の中で検討し決定してほしいということだ。決定するにあたり理由を含めて検討していかなければいけない。

意見・質問があればお願いしたい。

【松井隆夫委員】

最終的な結論は、いつまでに決めなければいけないのか。

【池田班長】

最終決定は、2月末までだ。しかし、それまでに要項やしおり等の募集に係る内容も確定したいので、1月中に決定していただきたい。

【松井隆夫委員】

1回でまとめるのは、難しい。12月に個々の意見を持ち寄り、1月に総合的に一つ一つ検討し、まとめなければいけないと思う。

今回は、今までと違う考えで取り組み、すり合わせをしっかりと行わなければいけないと思う。

【松井 孝会長】

他に関連で意見はないか。

【高橋委員】

それも大事だが、住民に説明する方が大事である。見直しも含めて、募集を活性化するためにも説明会をしなければいけない。それまでに決定しなければいけないのはもちろんだとは思う。

【松井 孝会長】

他に意見はないか。

【松井隆夫委員】

会長会議でこれだけの提案をされた際に、どのような意見交換がされたのか。

【松井 孝会長】

全て協議会に任せるのではなく、もう少し、市としてきちんとした事を出してほしかったという意見が多かった。自治・地域振興課の回答は、市としての考え方は示すので、最終的には各協議会に一任するというスタンスだった。

【松井隆夫委員】

決め事は、きちんと行政の立場で示してもらいたかった。今からではどうにもならないが、会長会議でもそのあたりをしっかりと協議してもよかったのではないか。

【松井 孝会長】

本当は会長会議の内容を、あらかじめ委員の皆さんと煮詰めてから参加できればよかったと思う。会長の中でもすぐに理解できる人とそうではない人と温度差がある。

事務局も、はっきりしない部分が多かった。

高橋所長はどう思ったか。

【高橋所長】

今ほど会長が報告されたようなご意見がいくつかの地域協議会の会長から出された。

三和区地域協議会でも多くの意見をいただき提出したが、一方では事務局案からではなく、一から地域協議会で検証・検討し提出した協議会にとっては、非常にこの結果では納得できないという意見もあった。

市としては、地域活動支援事業の趣旨である、地域のことは地域が決めることに重点をおいて、今回このような案が出された。その趣旨もご理解いただき、平成 31 年度三和区採択方針の検討をお願いしたい。

【松井 孝会長】

その他委員からあるか。

【松井隆夫委員】

もう一点気になるのが、この事業が継続的に続くのか疑問がある。例えば来年 1 年で終了してしまうようなら今回こんなに議論する意味があるのか釈然としない。会長会議においてなんで掘り下げて検討しなかったのか疑問は残る。

【松井 孝会長】

その他委員からあるか。

いずれにしても、三和区の採択方針を決めなくてはいけないのは事実であるので、方法について検討したい。

今ほど松井委員から 12 月中に 1~2 回検討してからまとめるという案が出されたが、他の意見はないか。確かにこの量を検討し、決定するのは難しいと考える。

【山岸次長】

事務局も当初は松井委員の言われるとおりの 12 月と 1 月で検討しなければ、ボリューム

もあるので1回では終わらないと考えていた。しかし、12月は地域説明会もあり日程が厳しい。

そこで、一旦資料をお持ち帰りいただき、他の資料も参考にしながら、個々の案を紙で提出いただきたいとする。その上で事務局がまとめ、まとめた案を事前に配布したい。その資料を基に1回の協議会で議論していただき、結果をまとめる方法ではどうか。まとめた資料を見ながらでもディスカッションはできると思う。委員の皆さんが初めから議論の場を多く設けた方がよければそのようにする。

【松井隆夫委員】

議論の場が多くということではなく、時間を掛けて、一つ一つ議論していかないと意味がないということをお願いしたい。

【高橋委員】

現行があつてそれに対して見直し案が示されているのであれば判断できると思われる。もちろん質問等があれば検討の際に行えば済むことだと思う。

【松井隆夫委員】

私が言いたいのは、出された案をさっと見て決めるのではなく、1項目毎に掘り下げて検討すべきだと言っている。

【高橋所長】

議論を疎かに考えているわけではないことは、ご理解いただいていると思う。議論の手法を検討しているところで、まずは、どのようにしていくか意見をいただき、それを事務局がまとめた上で皆さんに示し、それをベースに議論していただく方が早く、深い議論ができるのではないかと提案したものだ。他に良い手法があれば提案していただきたい。

1回で結論が出なければ、再度開催しなければいけない。どのように議論して行くかを検討していただきたい。

【松井隆夫委員】

段階的に踏んで進めていただければそれでよい。

【松井 孝会長】

その他委員からあるか。

無いようであればいつまで提出するかである。事務局から案はあるか。

【池田班長】

12月19日までに提出いただき、検討できるようにまとめた上で、委員の皆さんへ配布

したい。

【松井 孝会長】

19日であれば年内にまとめることは可能か。

【池田班長】

提出された意見の状況にもよるが、まとまり次第送付する事となる。

【松井 孝会長】

地域説明会や中学校との意見交換等色々あり整理しにくいですが、来年度の募集に向け早く方針を決定しなければならないのも事実である。

【松井隆夫委員】

20日か21日にしてもらえないか。

【山岸次長】

年内の送付でなく、1月初めであれば可能だと思われる。

【松井 孝会長】

では、21日までとし、1月初めの週までにはまとめて送付してもらおう。その上で1月の協議会で概ねの方向を決定する事でよいか。その際、地域説明会でいただいた意見の検討も行いたいと考える。

【田辺委員】

この資料を熟読し、理解するのは大変なことだと思う。文書自体が回りくどくわかりづらいので時間をいただきたい。

【松井 孝会長】

それでは、提出期限は12月21日とする。次回協議会の案はあるか。

【山岸次長】

1月11日までにまとめた資料を送付し、地域説明会の意見もまとめた上での開催となると、1月24日（木）、28日（月）、31日（木）で協議いただきたい。

【松井 孝会長】

では、1月24日（木）で決定したい。

【松井 孝会長】

次に、議題（4）「その他」に入る。

事務局からあるか。

【池田班長】

中学校の生徒による「まちづくりワークショップ」活動を地域協議会委員の皆さんに報告させていただきたいと、コーディネーターから相談があった。

10月13日（土）に「平成30年度地域青少年まちづくりワークショップ」で報告された内容である。学校と相談した結果、1月に行う意見交換会終了後に行えればありがたいとのことだったので協議いただきたい。

【松井 孝会長】

今ほどの説明のとおり、意見交換会終了後でよいか。

（一同賛成）

では、そのように計画いただきたい。

【松井 孝会長】

それでは、委員の皆さんよりあるか。

【宮沢委員】

昨日、さんわ祭り実行委員会に出席したので報告する。

今年度の参加数は2,200人で成功に終わった。諸課題については、8月なので暑さ対策に大変苦労があったと話があった。

来年度は、第5回目となり大々的に花火をあげたいという話があった。また、開催日は、8月3日（土）予定であるので、地域協議会からも2月末までに新実行委員を選出してほしいと依頼があった。その後の予定としては、3月中に第1回目の実行委員会が予定されている。

今回実行委員として参加させてもらったが、一人でも多くこのような事業に参加する事が大事な事であると思うので、新実行委員を決めるに当たり新たな人を選出いただきたい。

それに伴い準備委員も3月末までに選出となる。ぜひ、さんわ祭りを成功させるためにも地域協議会として積極的に参加していただきたい。

予算的なことについては、検討しなければいけないこともあるが地域活動支援事業も活用しながら行いたい。

三和を良くしようと同じ方向を向いている、三和区振興会と地域協議会で意見交換を行ったらよいのではないかと思った。

池田班長も参加していたので補足的に報告をお願いしたい。

【池田班長】

今ほど報告があったように、来年度は第5回目として盛大に行いたい。内容は、花火を多くし、歌謡ショーを盛り込む予定である。それに伴う費用として協賛金を募ることはもちろんだが、地域の人に楽しんでもらうために、地域活動支援事業の活用を考えていると話があった。

【高橋委員】

宮沢委員お疲れ様でした。私も三和区振興会の理事でもあるので同じような話を何度もしてきた。実施できればよいと思う。

【松井隆夫委員】

さんわ祭りに限ってならば三和区振興会と地域協議会ではなく、実行委員会の関係する団体と行わなければいけないと思う。

【宮沢委員】

さんわ祭りに限ったことではない。さんわ祭りに参加して思ったことだが、三和を良くしようと思う方向は同じであることを前提に、難しく考えず行いたいと考える。

【松井 孝会長】

悪い事ではないと思う。

ネットワーク会議というものがあったと思う。せっかく良い会があるのだから、それを活用しながら進めればいいのではないかと思う。

【高橋所長】

多くの団体に関わっていただいている。今の時期で概ね事業が終了した段階であり、今年度の実績、来年度の予定が固まっていると思われるので、それを捉えてネットワーク会議を開催しようと考えている。

来年度に向けてどう協力していけるのか、話し合いができればいいと考える。

ただ、ネットワーク会議は、団体の代表者の集まりであるので、今ほど提案あった個々の話し合いはできない。地域協議会の趣旨は、多くの地域の方から色々なご意見をいただきながら、課題を解決していく目的もあるので、今ほどの提案もまたいい意見交換になるのではないかとも思う。

【松井隆夫委員】

課題や議題があればいいが、三和区振興会との意見交換会には賛成できない。ネットワーク会議でまず検討してほしい。

【高橋委員】

私は、意味があると思う。課題が無くても「三和区のあるべき姿」という大きなテーマがある。

【金井副会長】

昨年ネットワーク会議に出席した。三和区を良くするために何かしようとするのはどの団体も気持ちは同じである。どの団体もしっかりしなければいけない。

まずは、団体の代表で検討してもらうのが第一段階だと思う。

【松井 孝会長】

5 その他について事務局の説明をお願いする。

【高橋所長】

- ・12月市議会定例会について

三和西部産業団地に1社進出が決定し、用地取得の関係の補助金が補正予算に計上されている。

- ・三和区振興会の新春祝賀会について
- ・米本陣チラシの案内

【池田班長】

- ・市民手帳の販売について
- ・地域活動フォーラムについて
- ・自主的審議事項の地域説明会について
- ・上越市新年祝賀会について

【松井 孝会長】

その他あるか。

【小林委員】

江口晃委員と三和のスポーツを考える会（11月20日）に参加したので報告する。

NPO法人さんわスポーツクラブの事業紹介があり、スポーツクラブが頑張っていることや活動が分かった。

その後、「三和区で小さいころからスポーツに取り組む環境にあったか」のテーマでグループワークが行われた。特に結論はなかったが、今後のスポーツクラブの活動に生かしていきたいとのことだった。

【松井 孝会長】

その他あるか。

(なし)

【金井副会長】

それでは、平成 30 年度第 6 回三和区地域協議会を閉会とする。

10 問合せ先

三和区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL : 025-532-2323 (内線 215)

E-mail : sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。